

令和3年度事業計画

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日

はじめに

令和3年度沖縄振興予算案は総額3,010億円と前年とほぼ同額となり、公共関係事業費においても1,420億円(前年度同額)が確保され、道路や港湾、空港等の社会資本整備とともに、学校施設の耐震化や災害に強い県土づくりの実施等で前年同様に推移することが見込まれている。

しかし、全世界を巻き込んだ「新型コロナウイルス感染症」の拡大により、本県においては、観光産業の落ち込みにより、ホテルの建設の中止等、民間工事で影響が生じている。

その中で、建設産業においては、観光産業の回復に備え、道路整備や構造物の老朽化対策など、公共インフラ施設の整備を重点的に取り組んでいくことが求められている。

本部会においては「フォトコンテスト」や「献血キャンペーン」等の事業を更に推進し業界に対するイメージアップを図っていくこととする。

又、令和3年度、青年部会が創立30周年を迎える年となることから、記念事業の開催に向けて取り組んでいく必要がある。

そこで「事業委員会」「研修委員会」「広報委員会」の3委員会で事業活動を実施して、会員全体が事業内容を把握出来るような組織体制を作り会員がメリットを実感できるよう取り組むと同時に加入促進に努めていく必要がある。

このため、本部会の会員相互の「融和」と「結束」、「行動力」を持って、役員会、専門委員会を中心に、令和3年度は、以下の事業に積極的に取り組んでいくこととする。

事業計画

1. 協会の諸施策に対して積極的に協力対応する
2. 組織の拡充強化と会員の加入促進を積極的に推進する(令和3年度目標10名)
3. 関係発注機関や関係団体との意見交換会の実施する
4. 人材確保・育成に関する事業を実施する
5. 九州建設青年会議・県外視察研修会に関連する事業を実施する
6. 建設業の経営及び技術の研鑽のための講習会・講演会を開催する
7. 会員の資質の向上と相互に親睦を深めるための行事(懇親会等)を開催する
8. 業界のイメージアップ【フォトコンテスト】【献血キャンペーン】事業を実施する
9. 青年部会創立30周年記念事業の実施

上記事業の実施については、各委員会で分担して内容等を検討し、各委員会を随時開催し、役員会の承認を得て事業を実施する。